【FdData 中間期末：中学理科２年天気】

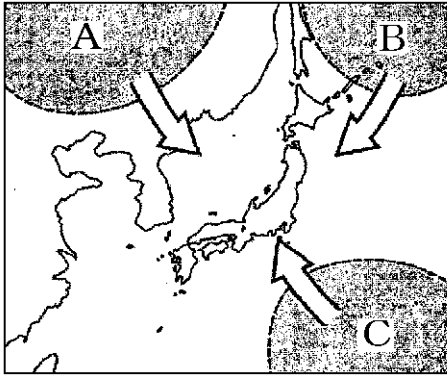
[日本の天気全般]

◆パソコン・タブレット版へ移動

[日本の周囲の気団]

[問題](前期中間)

　次の図は日本の周りにおける代表的な気団を表している。これについて，各問いに答えよ。



(1) 図の A，B，C の気団の名前をそれぞれ答えよ。

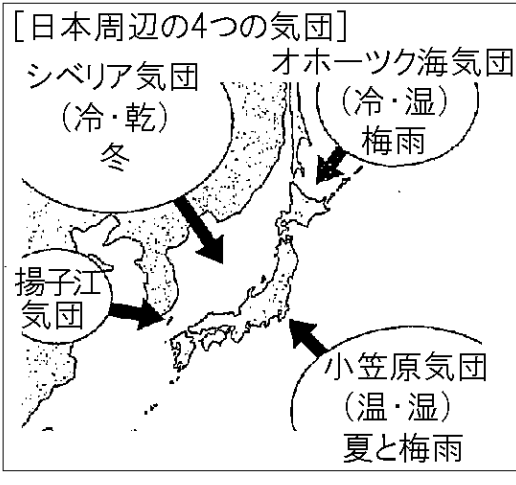
(2) 梅雨に入ると梅雨前線という停滞前線が発生する。この前線は 2 つの気団がぶつかりあうことにより発生するが，その気団とは図の A～C のどれとどれか。記号で答えよ。

(3) 夏に発達する気団は図の A～C のどの気団か。

(4) (3)の気団の温度と湿りぐあいはどのようになっているか。簡潔に答えよ。

[解答](1)A シベリア気団　B オホーツク海気団　C 小笠原気団　(2) B と C　(3) C　(4) あたたかくてしめっている。

[解説]



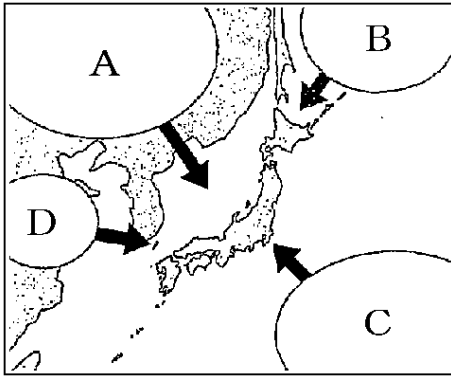
日本周辺の各季節の気団（きだん）は図の 4 つである。陸上で冬に発達するシベリア気団は冷たく乾燥（かんそう）している。海上に発達する 2 つの気団のうち，小笠原（おがさわら）気団はあたたかくしめっており，オホーツク海気団は冷たくしめっている。6 月ごろ，オホーツク海気団と小笠原気団が発達して，接し

て勢力がつり合う。このときにできる前線は停滞前線(　)の一種で梅雨前線とも呼ばれる。
夏になると，小笠原気団の勢力が強まって，梅雨前線を北へ押し上げ，日本列島はあたたかくしめった小笠原気団におおわれる。
春と秋，揚子江気団の一部が高気圧になった移動性高気圧と，低気圧が偏西風に流されて交互に日本列島付近を通るために，天気が周期的に変わる。

※この単元で出題頻度が高いのは3つの気団(シベリア気団，小笠原気団，オホーツク海気団)の「名前・位置」と「性質」である。冬，梅雨，夏の各季節に影響をおよぼす「気団」の名前もよく出題される。

[問題](1 学期中間)

次の図の A～D は，日本周辺にある，<u>気温・湿度がほぼ一様な空気のかたまり</u>である。各問いに答えよ。



(1) 下線部の空気のかたまりを何というか。

(2) A～C は，それぞれ何と呼ばれている空気のかたまりか。

(3) A～C の気団の性質として正しいものを，次から選び，それぞれ記号で答えよ。

ア　あたたかくしめっている。

イ　あたかく乾燥している。

ウ　冷たくしめっている。

エ　冷たく乾燥している

(4) 夏，日本に強い影響を与えるのは，A～D のどれか。

(5) 冬，日本に強い影響を与えるのは，A～D のどれか。

(6) 梅雨のときに，日本に強い影響を与えるのは，A～D のどれとどれか。

[解答](1) 気団　(2)A シベリア気団
B オホーツク海気団　C 小笠原気団
(3)A エ　B ウ　C ア　(4) C　(5) A
(6) B と C

[各季節の天気図]

[問題](1 学期中間改)

次の図 1～図 4 は，春，梅雨，夏，冬のいずれかのころの特徴的な天気図である。それぞれいつごろの天気図か。

図1

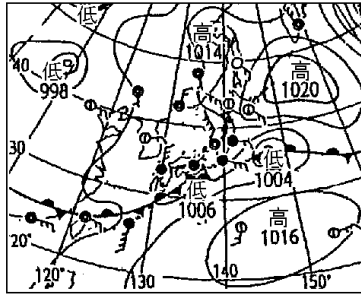


図2

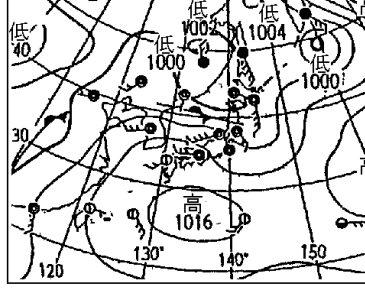


図3

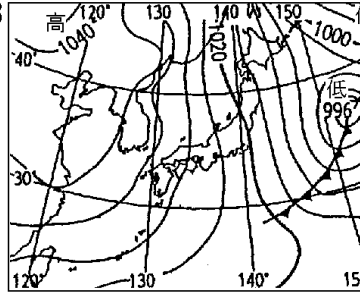
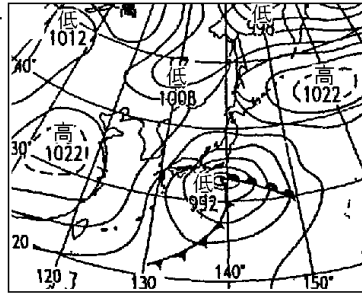


図4



[解答]図１：梅雨　図２：夏　図３：冬

図４：春

[解説]

［各季節の天気図］
梅雨：梅雨前線
夏　：太平洋高気圧，南高北低
冬　：シベリア高気圧，西高東低
春秋：移動性高気圧と低気圧

図 1 の天気図では，梅雨前線(停滞前線)( )に注目すると，梅雨の時期の天気図だとわかる。この前線は，6 月ごろ，オホーツク海気団と小笠原気団が発達して，接して勢力がつり合うことによってできる。

図 2 の天気図は，太平洋上に高気圧があり，北の方に低気圧がある南高北低の気圧配置になっていることから夏の天気図と判断できる。この高気圧は太平洋高気圧(小笠原気団)である。

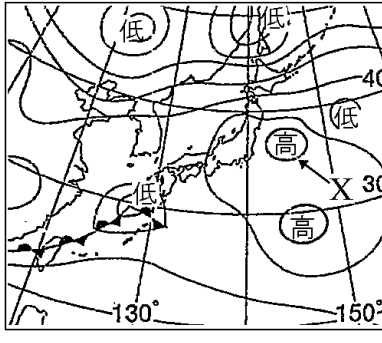
図３は，冬の典型的な天気図である。西の大陸付近にシベリア高気圧(シベリア気団)があり，東側に低気圧があって，日本付近の等圧線が南北に走り，西高東低(せいこうとうてい)の気圧配置になっている。
図４は，高気圧と低気圧が交互に並んでいることから秋か春の天気図と判断できる。この時期には，移動性高気圧(いどうせいこうきあつ)と低気圧が交互に通過するため，天気は周期的に変わる。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「どの季節の天気図か」である。

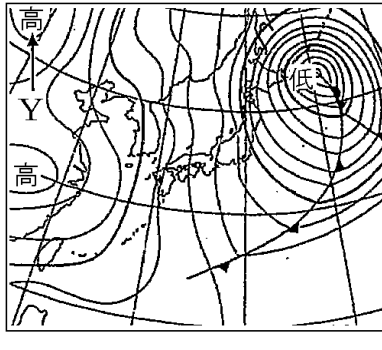
[問題](前期中間)

次のA～Cの天気図は，それぞれ春，夏，冬のいずれかの季節のものである。これについて，後の各問いに答えよ。

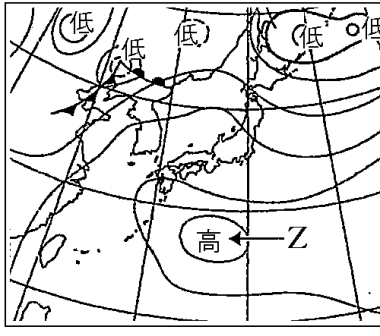
A



B



C



(1) A～C は，それぞれ春，夏，冬のどの時期のものか。

(2) X，Y，Z の高気圧のうち，移動性高気圧であり，24 時間後には位置が大きく変わっていると思われるのはどれか。

(3) B の天気図のときにふく季節風の向きを，次の[　　]から選べ。

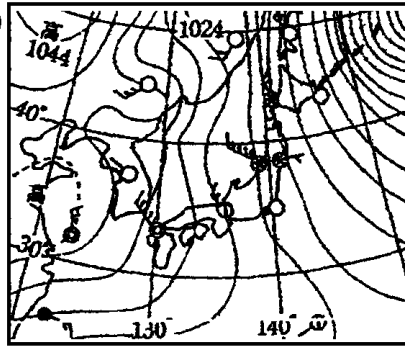
[南西　南東　北西　北東]

[解答](1)A 春　B 冬　C 夏　(2) X
(3) 北西
[解説]
まずBの天気図に注目する。等圧線が南北にならび, 西の大陸上に高気圧があり, 東に低気圧があるので, 西高東低(せいこうとうてい)の冬型の気圧配置になっている。したがって, Yはシベリア高気圧(シベリア気団)である。この時期には北西の季節風がふく。
次に, A と C のうち, どちらが夏の天気図であるか考える。夏の典型的な気圧配置は太平洋上に太平洋高気圧(小笠原気団)があり, 北の方に低気圧がある南高北低の気圧配置である。したがって, C が夏の天気図と判断できる。よって, Z は太平洋高気圧(小笠原気団)である。残りの A は春の天気図で, 図中の X は移動性高気圧であると判断できる。

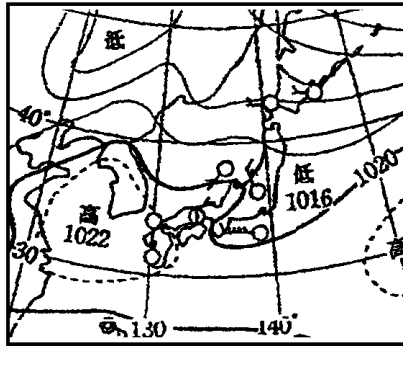
[問題](1 学期中間)

次の図は，日本付近の春，夏，冬，梅雨の天気図である。次の各問いに答えよ。

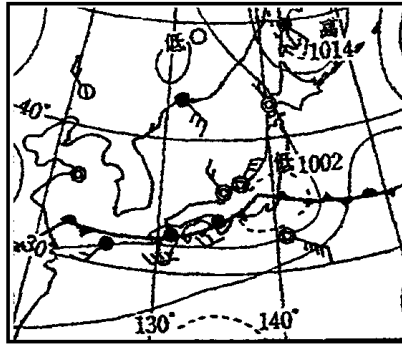
①



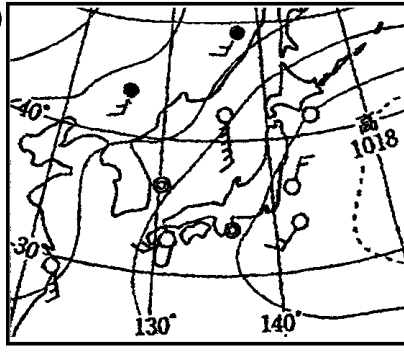
②



③



④



(1) 冬の天気図はどれか。番号で答えよ。

(2) 冬の典型的な気圧配置を何というか。

(3) ④の天気図で日本の天気に大きく影響している気団を何というか。

(4) ③の天気図にみられる前線を何というか。

(5) ①～④の天気図のうち，一定の天気が続かないで，晴れや雨などの天気が周期的に変化するのはどれか。季節と天気図の番号を答えよ。

[解答](1) ①　(2) 西高東低　(3) 小笠原気団　(4) 梅雨前線(停滞前線)

(5) 春，②

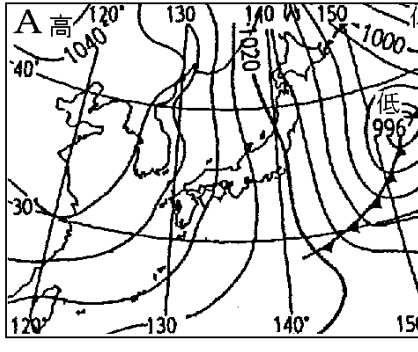
[解説]

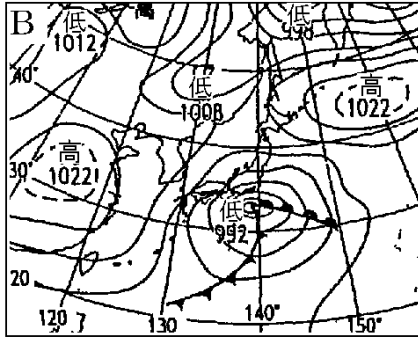
①の天気図では，西の大陸の方に高気圧があり，東の方に行くにつれ気圧が低くなっており，等圧線(とうあつせん)が南北に走っている。これは冬の「西高東低(せいこうとうてい)」の気圧配置であ

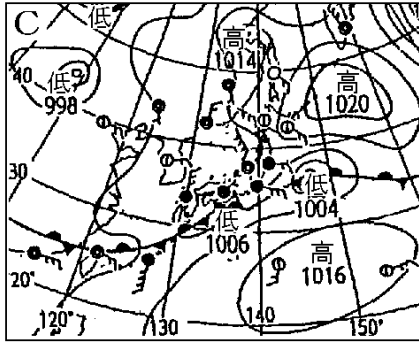
る。大陸の高気圧はシベリア気団である。
③の天気図では，日本付近の広い範囲で停滞前線が広がっている。この停滞前線はとくに梅雨前線とよばれ，6 月ごろ日本では雨の日が続く。
④の天気図では，太平洋に高気圧があることから，夏の天気図と判断できる。この高気圧は小笠原気団である。
残った②は春の天気図と判断できる。春と秋に，移動性高気圧と低気圧が交互に日本を通過するため，天気は周期的に変わる。

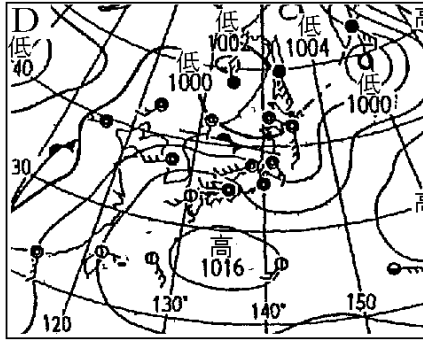
[問題](3 学期)

次の A～D は，日本の特徴的な天気図である。後の各問いに答えよ。









(1) A，B，D の天気図は，それぞれ春，夏，冬のうちのどの季節のものか。

(2) A の天気図でユーラシア大陸にある高気圧を何というか。次の[　　]から1つ選べ。

[シベリア高気圧　太平洋高気圧
移動性高気圧
オホーツク海高気圧]

(3) B の天気図では，低気圧と高気圧が交互にやってくる。大陸からくる高気圧を何というか。次の[　　]から1つ選べ。

[シベリア高気圧　太平洋高気圧
移動性高気圧
オホーツク海高気圧]

(4) C の天気図は梅雨の時期のようすである。日本にかかる停滞前線を何というか。次の[　　]から1つ選べ。

[寒冷前線　温暖前線　梅雨前線
秋雨前線]

(5) D の天気図で，日本をおおっているあたたかくしめった気団を何というか。次の[　　]から１つ選べ。

[小笠原気団　シベリア気団
　オホーツク海気団]

[解答](1)A 冬　B 春　D 夏
(2) シベリア高気圧　(3) 移動性高気圧
(4) 梅雨前線　(5) 小笠原気団
[解説]
A は等圧線が南北に走り，西に高気圧が東に低気圧がある西高東低の気圧配置になっていることから冬の天気図とわかる。冬に大陸に発達する高気圧はシベリア高気圧である。
B は春の天気図で，移動性高気圧と低気圧が交互に日本を通過し，天気は周期的

に変化する。

Cは，梅雨前線(停滞前線)( )があることから梅雨の天気図とわかる。

D は，太平洋にある高気圧(太平洋高気圧)が日本列島をおおっていることから夏の天気図であるとわかる。日本をおおっているあたたかくしめった気団を小笠原気団という。

[各季節の特徴]

[問題](後期期末)

日本の四季の天気について，次の文章中の①～⑩に適語を入れよ。

・日本の冬は，(　①　)気団が発達し，北西からの季節風がふく。気圧配置は(　②　)になる。季節風が日本海で大量の水蒸気をふくむため，日本海側では(　③　)が降るが，太平洋側では晴れて乾燥することが多い。

・日本の春は，(①)気団のおとろえにより寒暖を繰り返しながらあたたかくなる。その後，(　④　)風の影響を受け，低気圧と(　⑤　)高気圧が交互に通過するため，天気は周期的に変化する。

・6 月から 7 月中旬にかけて，北からオホーツク海気団が発達し，南で発達した(　⑥　)気団と日本付近でぶつかり合い，東西に長くのびた停滞前線ができる。この前線の影響で，この時期は雨の多いぐずついた天気が続く。この時期を(　⑦　)といい，この時期の停滞前線を⑦前線ともいう。

・日本の夏は，日本の南側に高気圧，北側に低気圧がある(　⑧　)といわれる気圧配置になり，南東からの季節風がふいて蒸し暑い日が続く。また，この時期は，台風が発達する。台風とは，太平洋で発達した(　⑨　)が発達したものである。

・9 月ごろになると，(⑥)気団がおとろえて南にしりぞくため，(⑦)の時期のように東西に停滞前線ができる。この時期の停滞前線は，(　⑩　)前線と呼ばれる。

[解答]① シベリア　② 西高東低
③ 雪　④ 偏西　⑤ 移動性　⑥ 小笠原
⑦ 梅雨　⑧ 南高北低　⑨ 熱帯低気圧
⑩ 秋雨

[問題](1 学期中間)

次の文章中の①～⑩に適語を入れよ。

日本には四季があり，それぞれの季節の天気には特徴がある。まず冬には(　①　)気団が発達し，(　②　)の季節風がふく。気圧配置は(　③　)である。

6 月から 7 月にかけて，北では(　④　)気団が発達し，南には(　⑤　)気団が現れる。この 2 つの境目に(　⑥　)前線ができる。この時期の(⑥)前線をとくに(　⑦　)前線という。

夏には(⑤)気団が発達し，(　⑧　)の季節風がふく。夏の終わりから秋にかけては，熱帯低気圧が発達した(　⑨　)が日本に接近，上陸する。春や秋には(　⑩　)高気圧と低気圧が交互に通過する。

[解答]① シベリア　② 北西

③ 西高東低　④ オホーツク海

⑤ 小笠原　⑥ 停滞　⑦ 梅雨　⑧ 南東

⑨ 台風　⑩ 移動性

【各ファイルへのリンク】

理科１年

[光音力]　[化学]　[植物]　[地学]

理科２年

[電気]　[化学]　[動物]　[天気]

理科３年

[運動]　[化学]　[生殖]　[天体]　[環境]

社会地理

[世界１]　[世界２]　[日本１]　[日本２]

社会歴史

[古代]　[中世]　[近世]　[近代]　[現代]

社会公民

[現代社会]　[人権]　[三権]　[経済]

【FdData 中間期末製品版のご案内】
このPDFファイルは, FdData 中間期末を PDF 形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版の FdData 中間期末は Windows パソコン用のマイクロソフト Word(Office)の文書ファイル(A4 版)で, 印刷・編集を自由に行うことができます。
◆FdData 中間期末の特徴
中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は, 実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約 1800～2100 ページと豊富な問題を収録しているため, 出題傾向の 90%以上を網羅しております。
FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは,「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では，ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」,「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として，塾の生徒にFdDataの膨大な問題を解かせたところ，成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは，製品の全内容を掲載しており，どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし，FdData中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を，鉛筆を使って一問一問解き進むことで，大きな学習効果を得ることができます。さらに，製品版は，すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」，編集に適した「問題解答一体形式」，暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の 3 形式を含んでいますので，目的に応じて活用することができます。

FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

◆FdData 中間期末製品版の価格

理科 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

社会地理，歴史，公民：各 7,800 円

数学 1 年，2 年，3 年：各 7,800 円

ご注文は電話，メールで承っております。

FdData 中間期末(製品版)の注文方法

※パソコン版ホームページは，Google などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。
（「amazon　fddata」で検索）

【Fd 教材開発】電話：092-811-0960

メール： info2@fdtext.com